フマキラー株式会社

2020年3月期 第2四半期
決算説明会

日用品質

フマキラー®

2019年12月26日

日用品質
フマキラー®

はじめに

FTSにおける不適切な支払いに関する調査結果について

- フマキラー・トータルシステム株式会社（FTS 社）の主力事業のシロアリ施工事業において、FTS 社の元取締役が2011年４月から2015 年10月の間、特定のシロアリ施工業者と共謀し、約33百万円の不正な支払いが発生
- FTS 社においては、判明している事実以外に問題となるような取引や会計処理はありませんでした
- FTS 社以外の連結子会社においては、同種の事案はありませんでした

決算への影響について

- 過去の決算への影響は軽微、今期決算への影響はありません

再発防止について

- 不正のリスクを最小化するための業務プロセス、IT システムの再構築
- 親会社における業務管理の強化
- コンプライアンス啓発活動の拡充、内部通報制度の活用を周知徹底

日用品質
フマキラー®

目次

Ⅰ．決算概要

Ⅱ．通期予想と今後の展開

Ⅲ．配当政策

Ⅳ．補足資料

Ⅰ．決算概要
（2020年3月期第2四半期）

日用品質 フマキラー

決算概要－連結売上・利益

- 国内事業、特にフマキラー単体が苦戦。経常利益まで前年同期比はプラスも、期初計画に対しては大幅に未達
- 単体の繰延税金資産の取り崩しにより四半期純損益は赤字

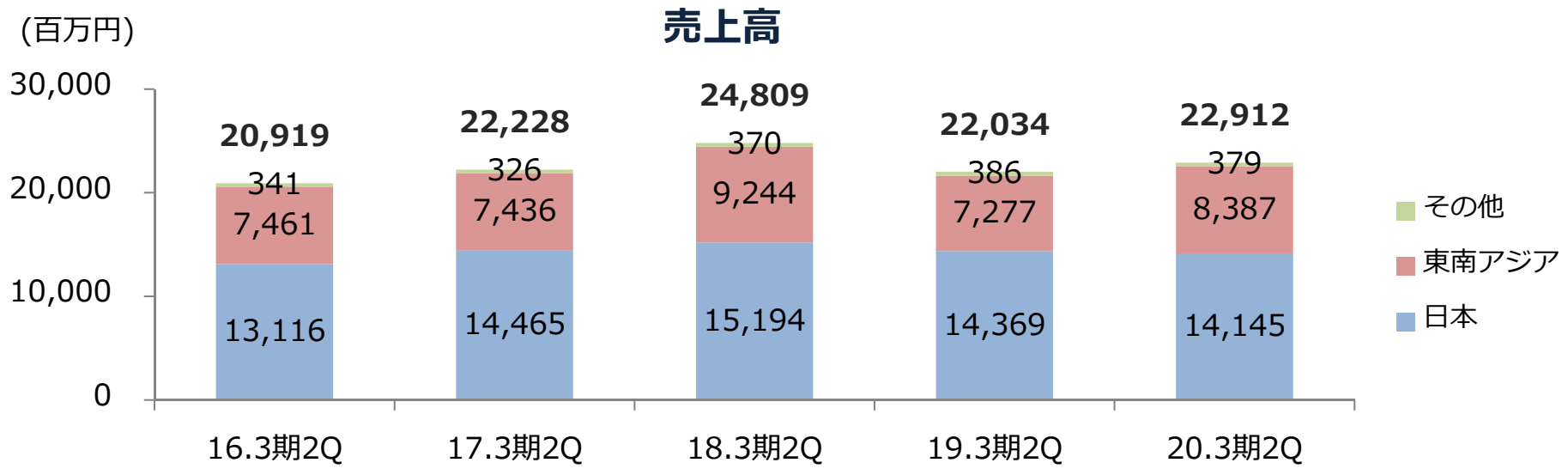
	19.3月期2Q 実績		20.3月期2Q 期初計画		20.3月期2Q 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比(%)	計画比 (%)
売上高	22,034	100.0	24,100	100.0	22,912	100.0	104.0	95.1
売上総利益	6,536	29.7	7,560	31.4	6,504	28.4	99.5	86.0
販管費	6,199	28.1	6,400	26.6	6,020	26.3	97.1	94.1
営業利益	105	0.5	920	3.8	365	1.6	348.0	39.7
経常利益	114	0.5	870	3.6	427	1.9	374.8	49.1
親会社株主に帰属する四半期純損益	55	0.3	360	1.5	▲249	▲1.1	—	—
1株当り損益	3.36円		21.84円		▲15.14円			

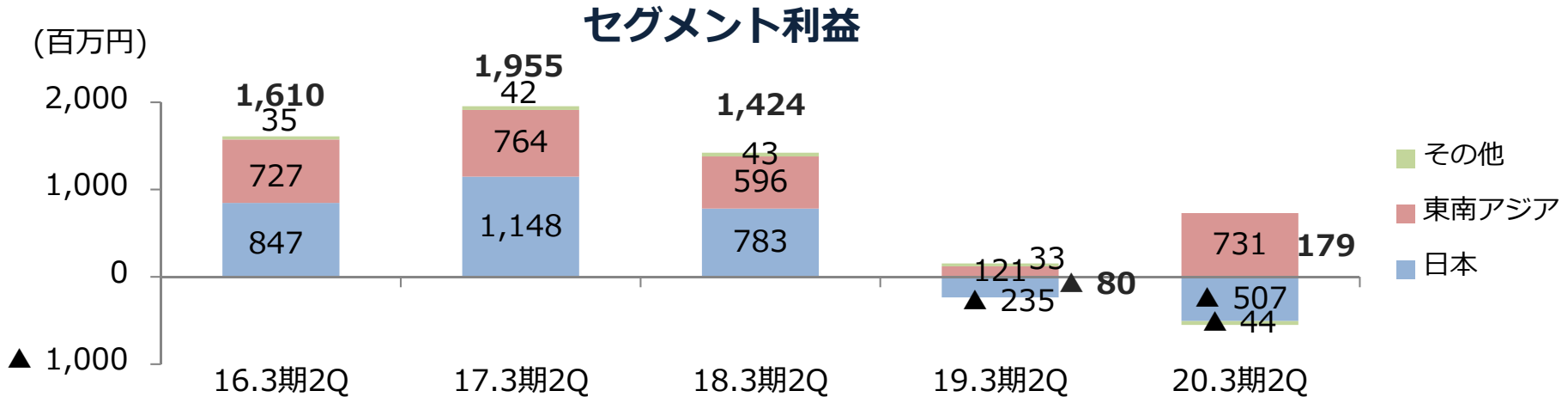
※売上総利益：返品調整引当金繰入前

日用品質 フマキラー

決算概要－セグメント情報

- 日本は、シェア争奪のための価格競争に拍車。値引販売の抑制に至らず原価率アップ
- 東南アジアは、インドネシアにおける値引販売の抑制等により利益改善
- その他セグメントは、メキシコ現地法人の収益悪化

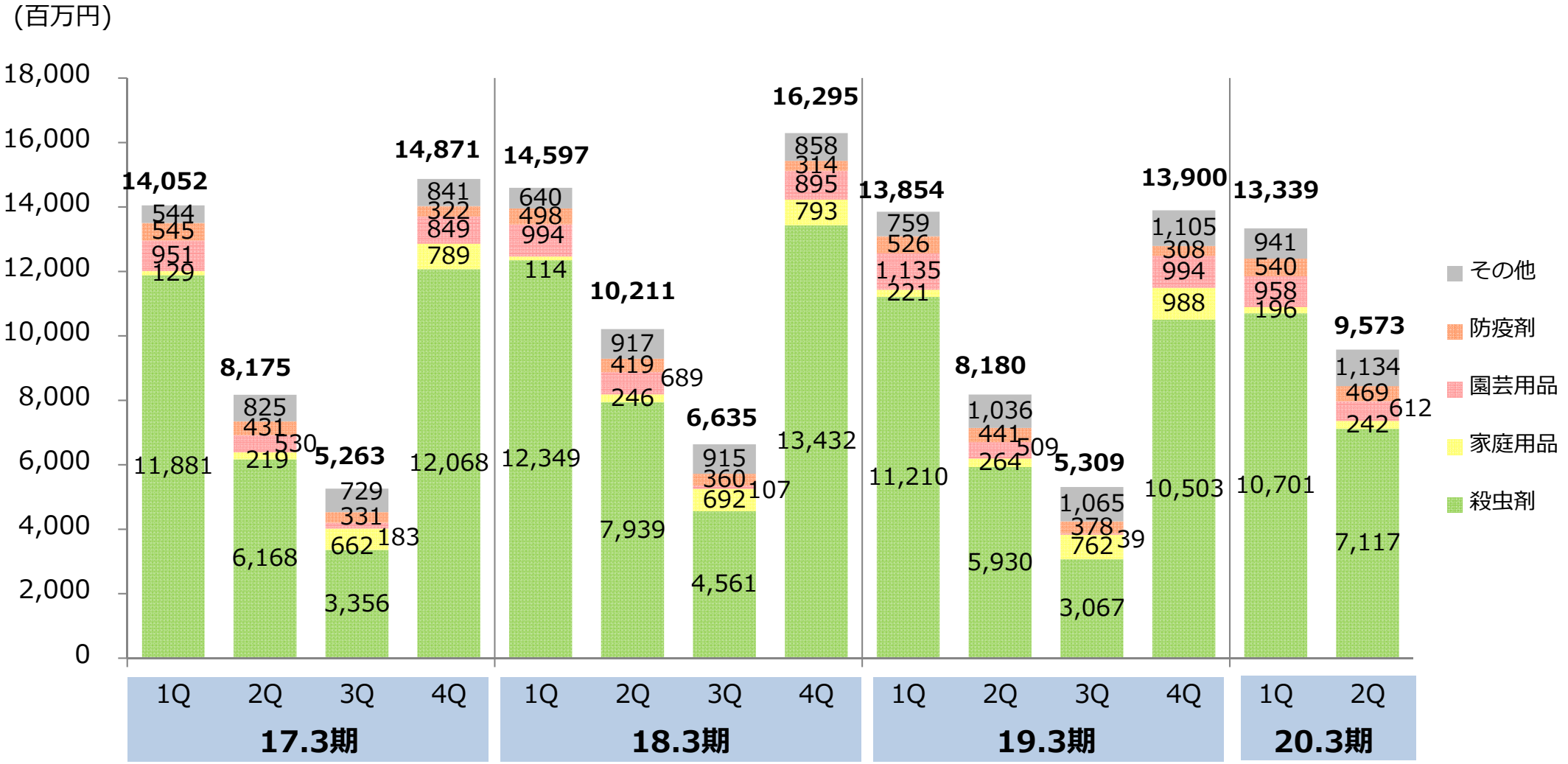




日用品質 フマキラー

決算概要－商品ジャンル別売上②

- 1Qは、国内で天候不順の影響による殺虫剤、園芸用品がマイナスが響く
- 2Qは、残暑期間が長く8月以降に売上が伸び、酷暑で苦戦した前年同期を上回った



日用品質
フマキラー®

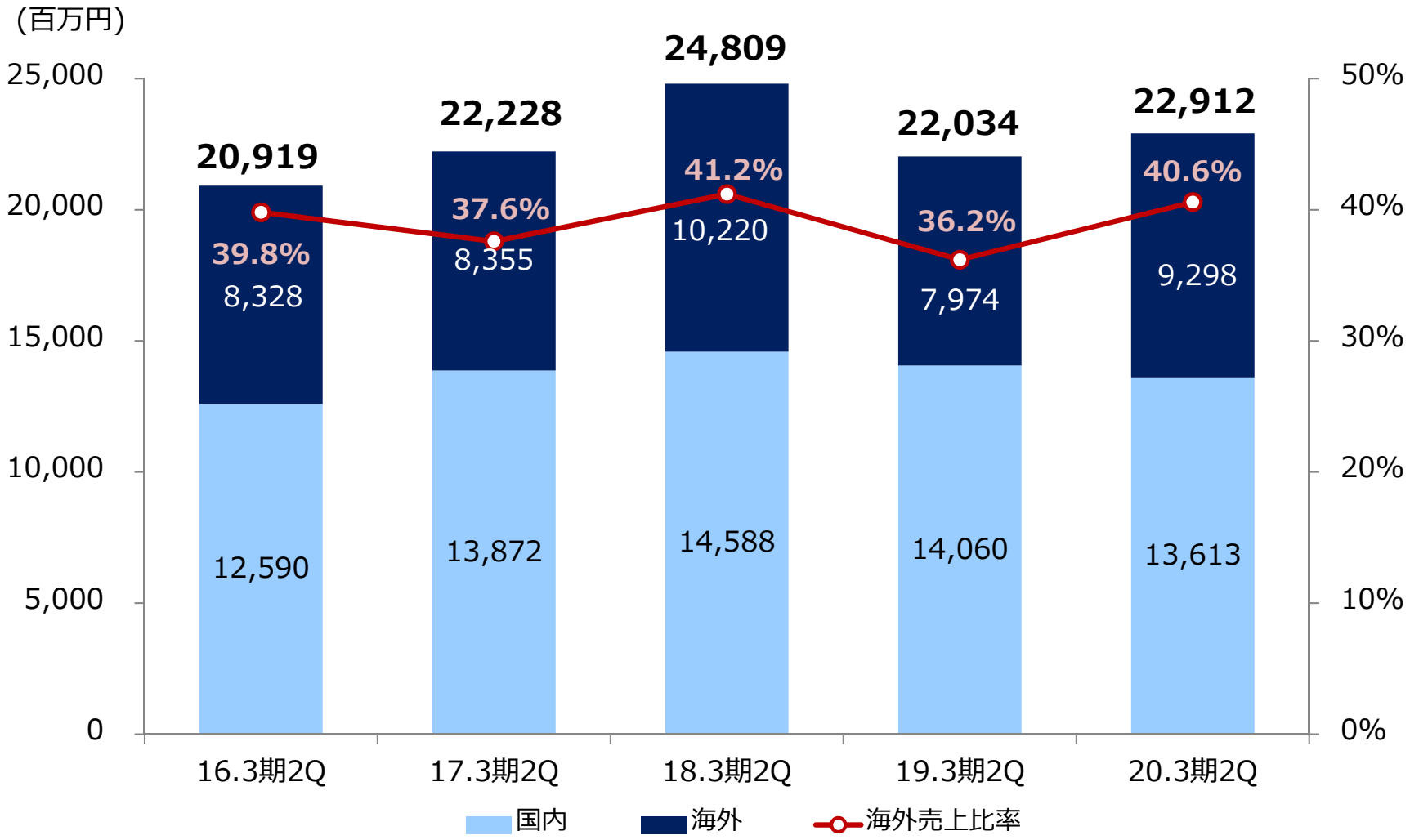
決算概要－売上高の増減要因

ジャンル		前年同期比	要因
殺虫剤	国内	92.8%	➔ 最盛期の４～６月に気温が上がらず市場が低迷し売上減 ➔ ８月以降残暑が続き市場が回復するも、最盛期における売上減の影響が大きくトータルで前年2Qを割り込む
	海外	117.0%	➔ 昨年落ち込んだインドネシアが回復し、大幅な増収
家庭用品		90.1%	➔ 昨年度末までに販売した花粉関連商材の返品が増加
園芸用品		95.5%	➔ 除草剤の売上が前年並みとなった一方で、主力の殺虫殺菌剤と園芸用不快害虫殺虫剤が、殺虫剤同様に天候の影響を受け前年同期より減少
防疫剤 その他		111.6%	➔ フマキラー・トータルシステム㈱のシロアリ施工工事が好調
合計		104.0%	

日用品質 フマキラー

決算概要－国内/海外売上高

- 国内は、2Qで挽回も1Qの不振が響く
- 海外は、前下期以降販売方針の転換（値引抑制）が寄与し順調



日用品質 フマキラー

海外国別売上高－前年同期比

現地通貨ベース売上

前年同期比(%)

展開国	20年3月期 2Q期初計画	20年3月期 2Q期初実績
インドネシア（2社）	119	124
マレーシア	121	112
タイ	121	120
ベトナム	108	110
インド	132	113
メキシコ	108	94

円換算売上

前年同期比(%)

展開国	20年3月期 2Q期初計画	20年3月期 2Q期初実績
インドネシア（2社）	113	123
マレーシア	113	107
タイ	112	123
ベトナム	103	107
インド	115	109
メキシコ	107	98
海外合計(単純合算)	115	115

日用品質 フマキラー

決算概要－為替の影響

- 為替による業績影響は、売上で▲2.5億円、営業利益で▲0.3億円

為替変動による売上・利益増減額

(百万円)

	売上高	営業利益	備考（営業利益）
フマキラー	▲11	▲10	海外売上▲1、海外仕入▲9
海外子会社	▲242	▲16	インドネシア（2社）▲8、アジア▲6他
合計	▲253	▲26	

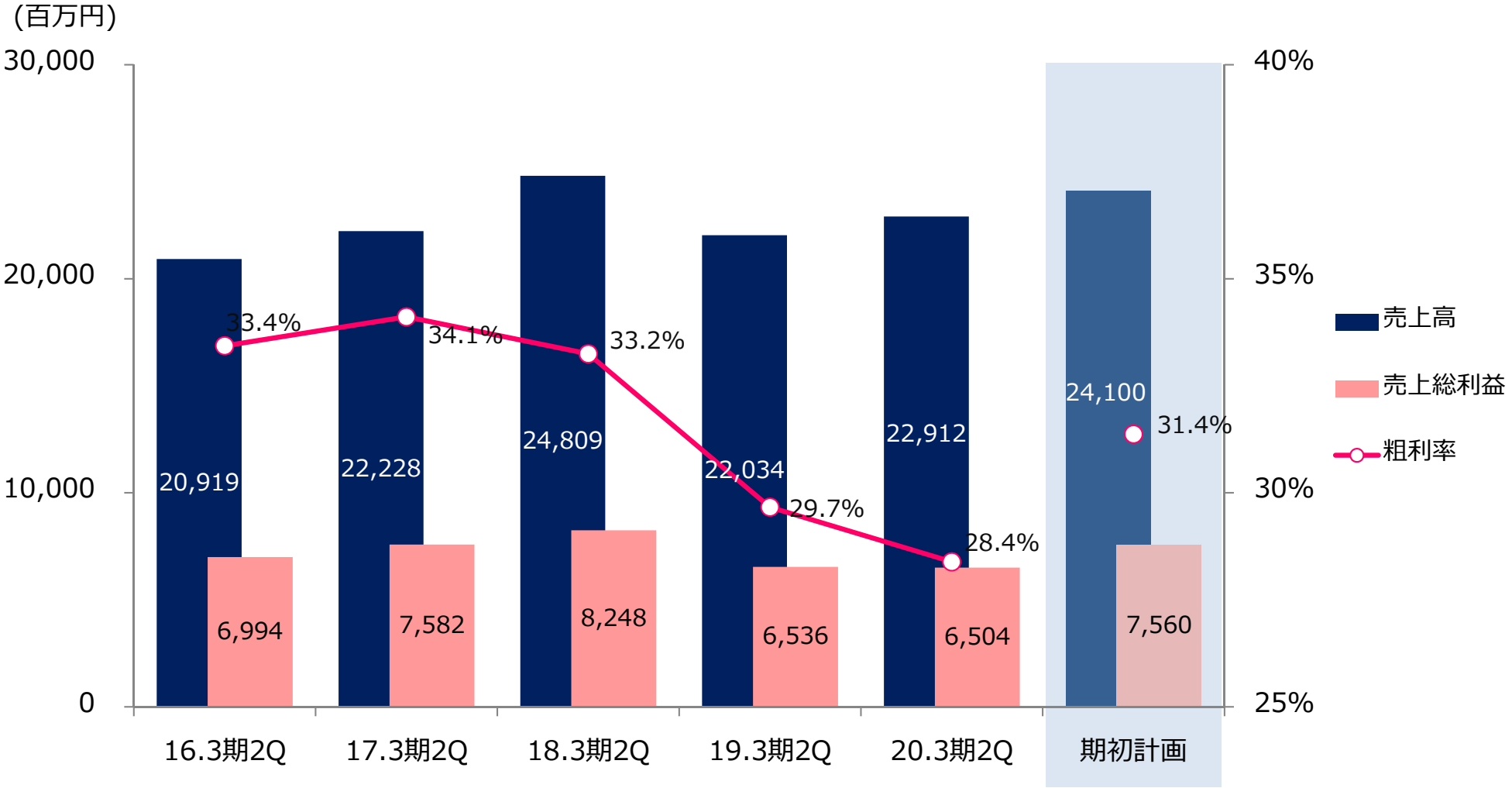
期末レート・期中平均レート

期末	18年6月	19年6月	19年12月計画
円/100ﾙﾋﾟｱ	0.77	0.76	0.77
円/リンギット	27.34	26.03	26.14
円/ルピー	1.61	1.56	1.53
円/ペソ	5.60	5.62	5.62

期中平均	18年4-9月	19年4-9月	19年4-3月計画
円/ドル	110.7	109.0	105.0
円/ユーロ	130.2	122.9	120.0

決算概要－売上総利益（粗利率）

- 売上総利益率は前年同期比1.3ポイント低下、計画比3.0ポイント低下
- 粗利率の低下要因…①殺虫剤の競争激化による販促経費の増加　②商品構成の変化
  ③在庫削減（新規生産の生産調整）

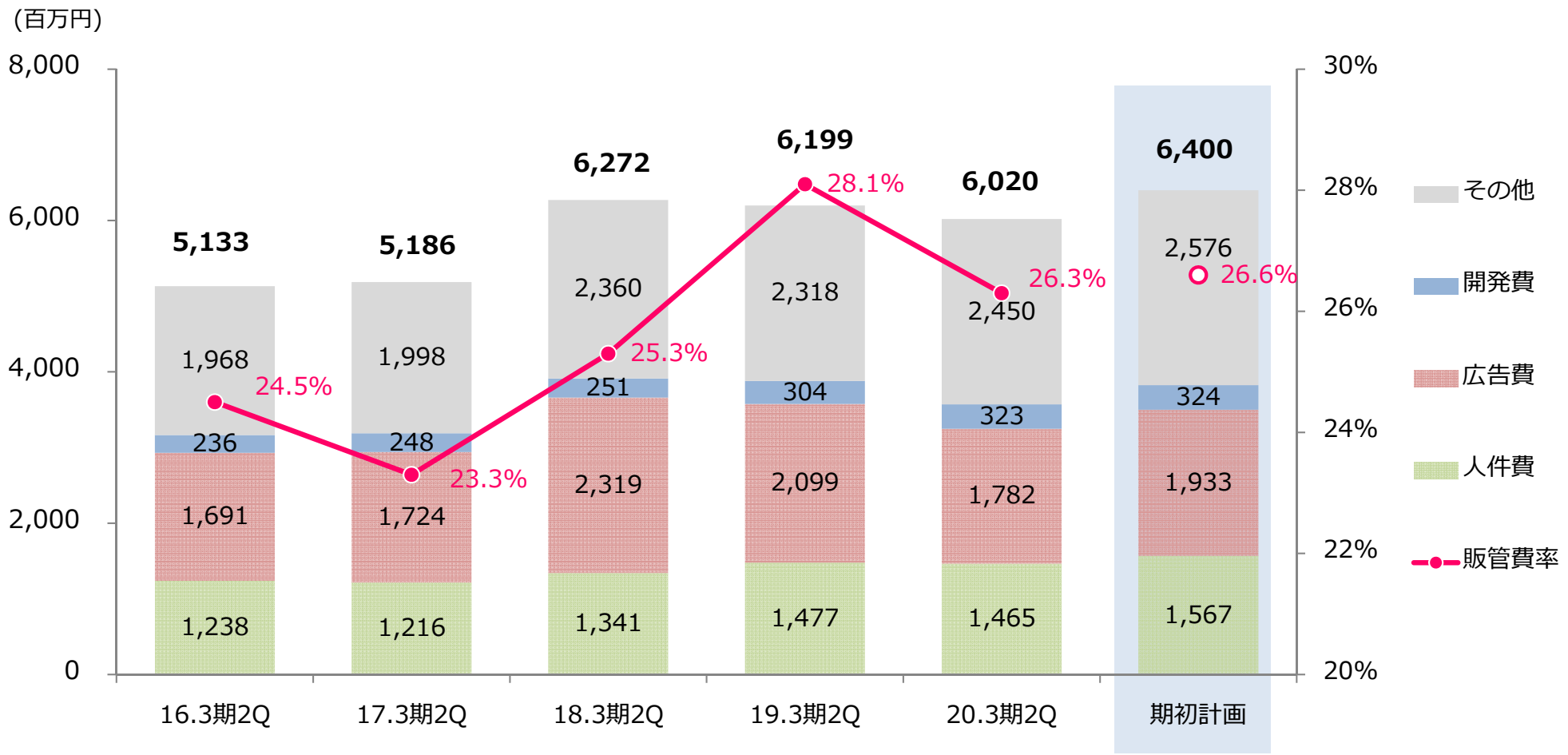


※売上総利益：返品調整引当金繰入前

日用品質 フマキラー

決算概要―販管費

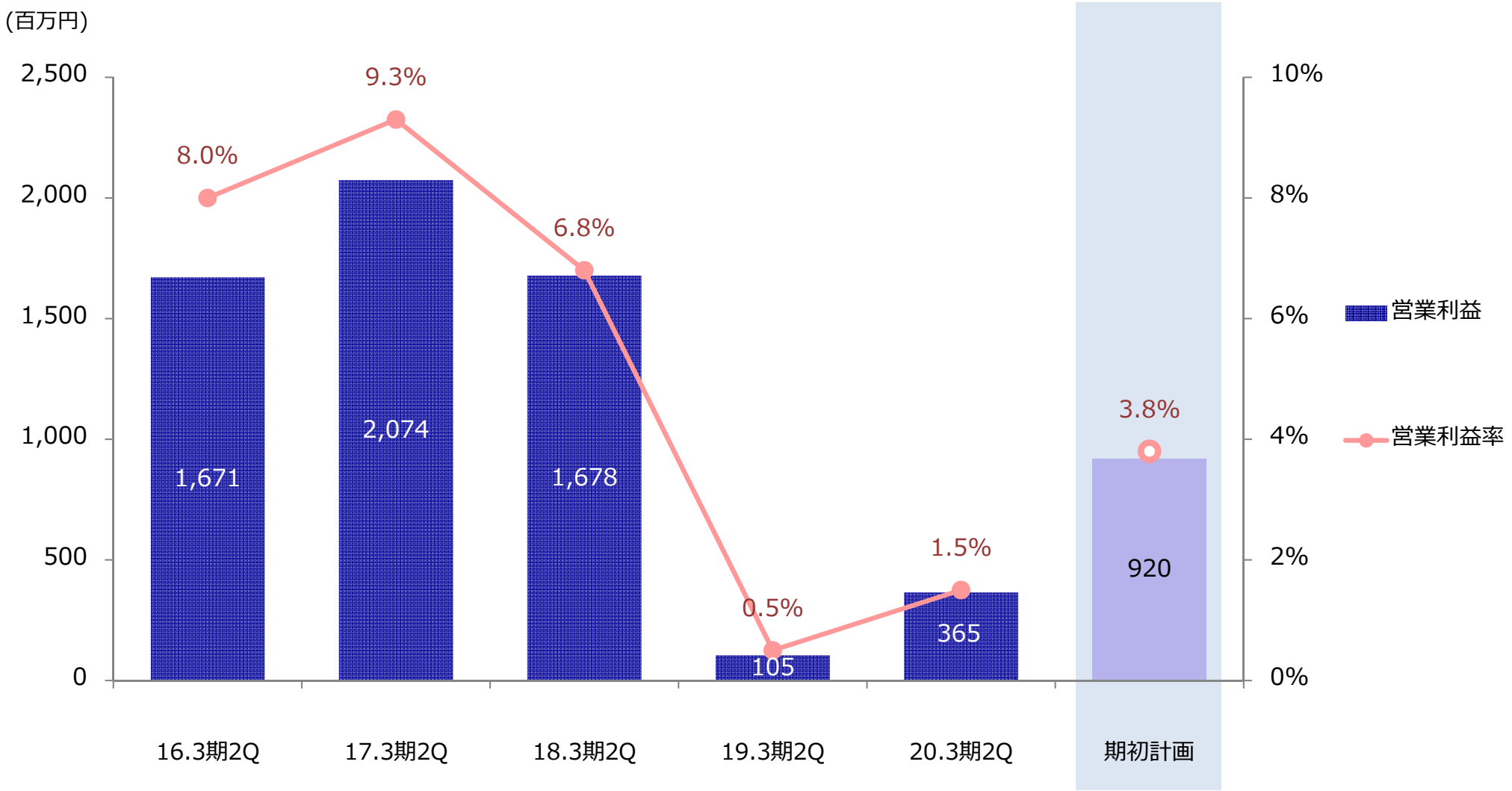
- グループ全体で経費の削減に努めた結果、売上高販管費比率は前年同期比1.8ポイント低下の26.3%



日用品質 フマキラー

決算概要―営業利益

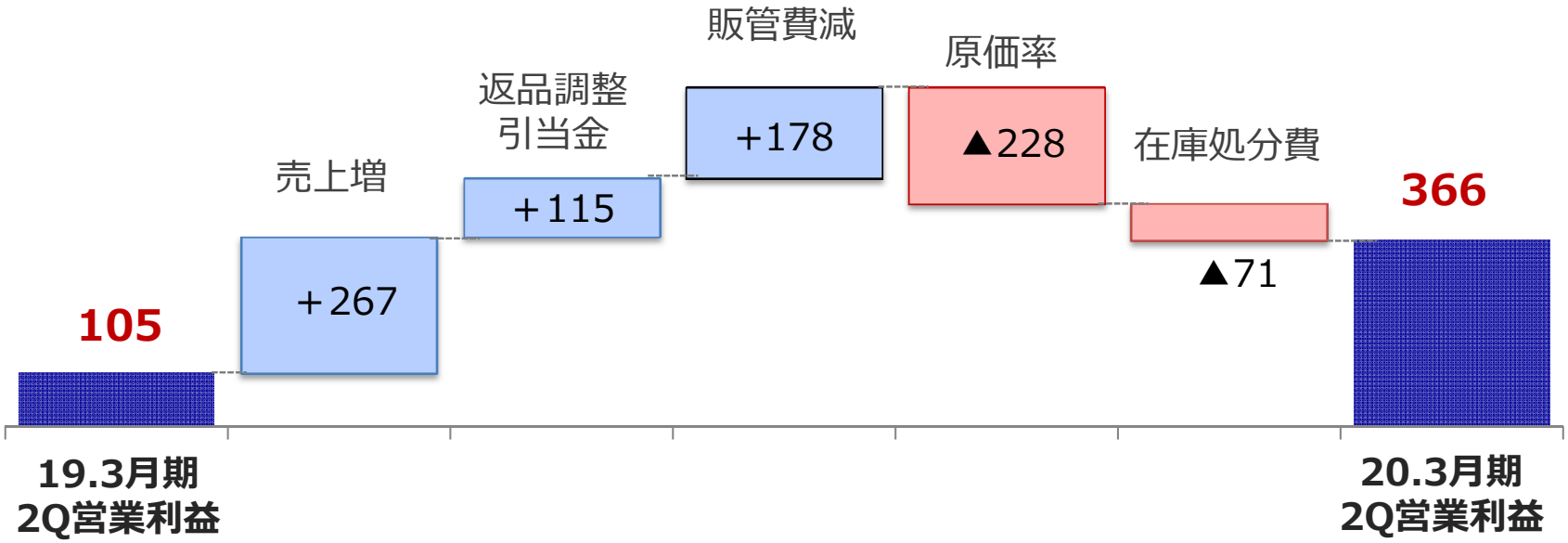
営業利益は、前期を上回るも国内の売上減により期初計画は達成できず



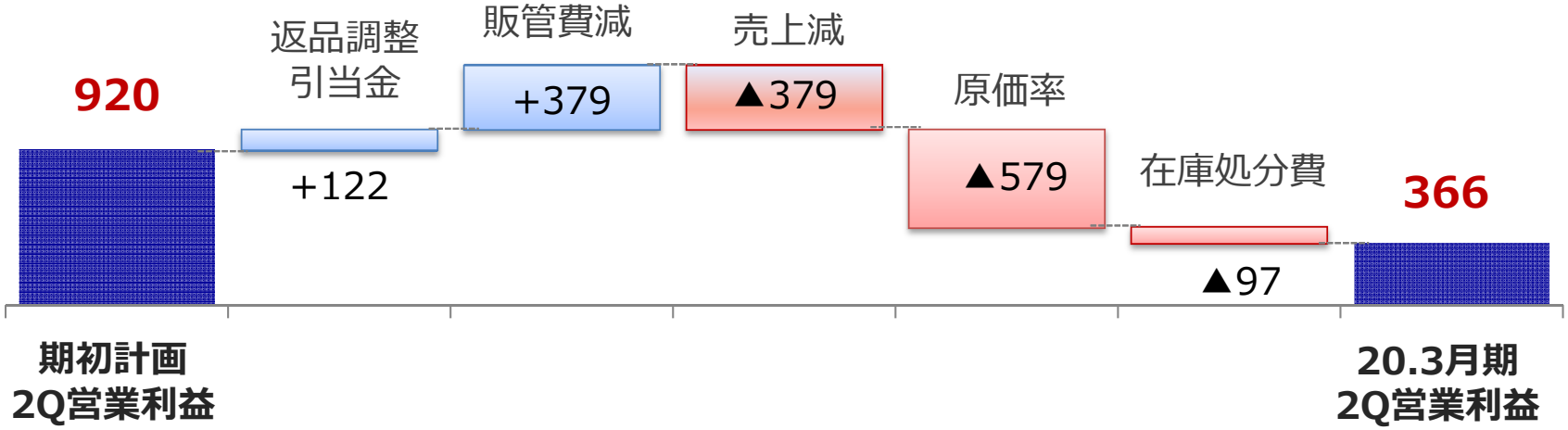
日用品質 フマキラー

決算概要―営業利益増減要因

前年同期比
+261百万円



2Q期初計画比
▲554百万円



日用品質 フマキラー

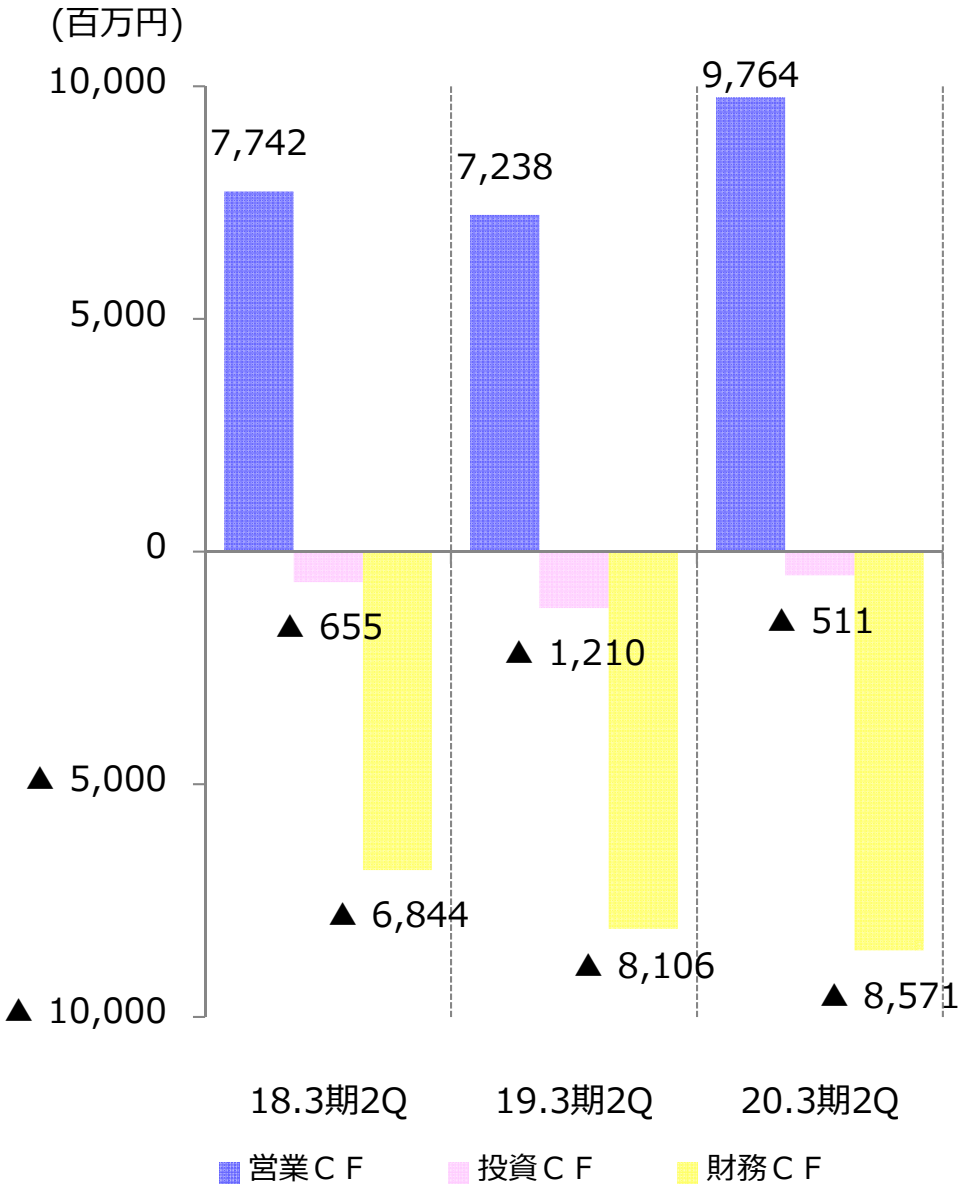
決算概要－貸借対照表

(単位：百万円)

	19.3期 2Q末	20.3期 2Q末	対19.3期2Q末増減	
流動資産	18,511	18,854	343	
現金及び預金	4,957	5,823	866	
売上債権	4,213	5,008	795	
たな卸資産	8,142	7,052	▲1,090	単体の在庫削減が進む
固定資産	14,157	12,859	▲1,298	
有形固定資産	4,763	5,026	263	
無形固定資産	2,107	1,772	▲335	
投資有価証券	6,835	5,543	▲1,292	評価替えによる
資産合計	32,668	31,714	▲954	
流動負債	14,010	13,855	▲155	
買入債務	5,932	4,463	▲1,469	仕入抑制・経費削減による減少
固定負債	1,648	1,844	196	
有利子負債	3,723	5,073	1,350	単体の売上減により借入金残高が増加
負債合計	15,658	15,699	41	
純資産	17,010	16,014	▲996	
資本金	3,698	3,698	0	
負債純資産合計	32,668	31,714	▲954	

日用品質 フマキラー

決算概要－キャッシュ・フロー



（単位：百万円）

	19.3期 2Q		20.3期 2Q
営業キャッシュフロー	**7,238**	→	**9,764**
税金等調整前四半期純利益	86	→	396
売上債権減少額	7,967	→	7,564
棚卸資産減少額	1,448	→	2,888
仕入債務増減額（▲は減少）	▲1,268	→	▲1,692
投資キャッシュフロー	**▲1,210**	→	**▲511**
有形固定資産の取得	▲449	→	▲327
関係会社株式の取得	▲642	→	—
財務キャッシュフロー	**▲8,106**	→	**▲8,571**
短期借入金の純増減額	▲6,371	→	▲8,052
長期借入金の返済	▲1,250	→	—

Ⅱ．通期予想と今後の展開（2020年3月期）

日用品質 フマキラー

20.3期上期を振り返って

国内・海外で明暗がくっきりと分かれた上期

国内

- 殺虫剤・園芸用品の最盛期の４～７月中旬の売上減による利益減
- 市場低迷による競争激化の中で販促経費率増加による利益減
- 在庫調整による売上原価率アップ

海外

- 海外子会社の売上が回復し、売上・利益とも増加

期初に挙げた課題への取組の結果として

【国内】

- 販促経費の削減 ⇒ 競争激化の中で対応が不十分
- 売上/利益の予実管理の徹底 ⇒ 競争激化の中で対応が不十分
- 見込み生産の精度向上と在庫管理（在庫削減） ⇒ 在庫の削減を実現

【海外】

- 競争激化の中での売上と利益の予実管理の徹底 ⇒ 売上・利益とも回復・拡大

日用品質 フマキラー

今期予想

第2四半期の業績および下半期の売上見込み等を勘案し、期初計画を修正

（単位：百万円、%）

	19.3期 実績	20.3期 期初計画	20.3期 修正計画	前期比
売上高	41,243	43,700	43,200	104.7%
売上総利益 (粗利率)	12,115 (29.4%)	13,800 (31.6%)	12,534 (29.0%)	103.5%
販管費	10,998	11,950	11,404	103.7%
営業利益	1,136	1,850	1,130	99.5%
経常利益	1,332	1,910	1,410	105.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	693	990	340	49.1%

※売上総利益：返品調整引当金繰入前

日用品質 フマキラー

通期予想－下期の計画について

下期は、増収減益を計画

- 国内は、ここ数年第４Qの売上が殺虫剤の早期展開により増加傾向だが、今期は売上・利益とも前期を下回るとの見込み
- 海外は、上期からの好調を維持し、売上・利益とも前期を上回る見込み

⇒ 通期では、売上は前期を上回るも、利益では前年並みの見込み

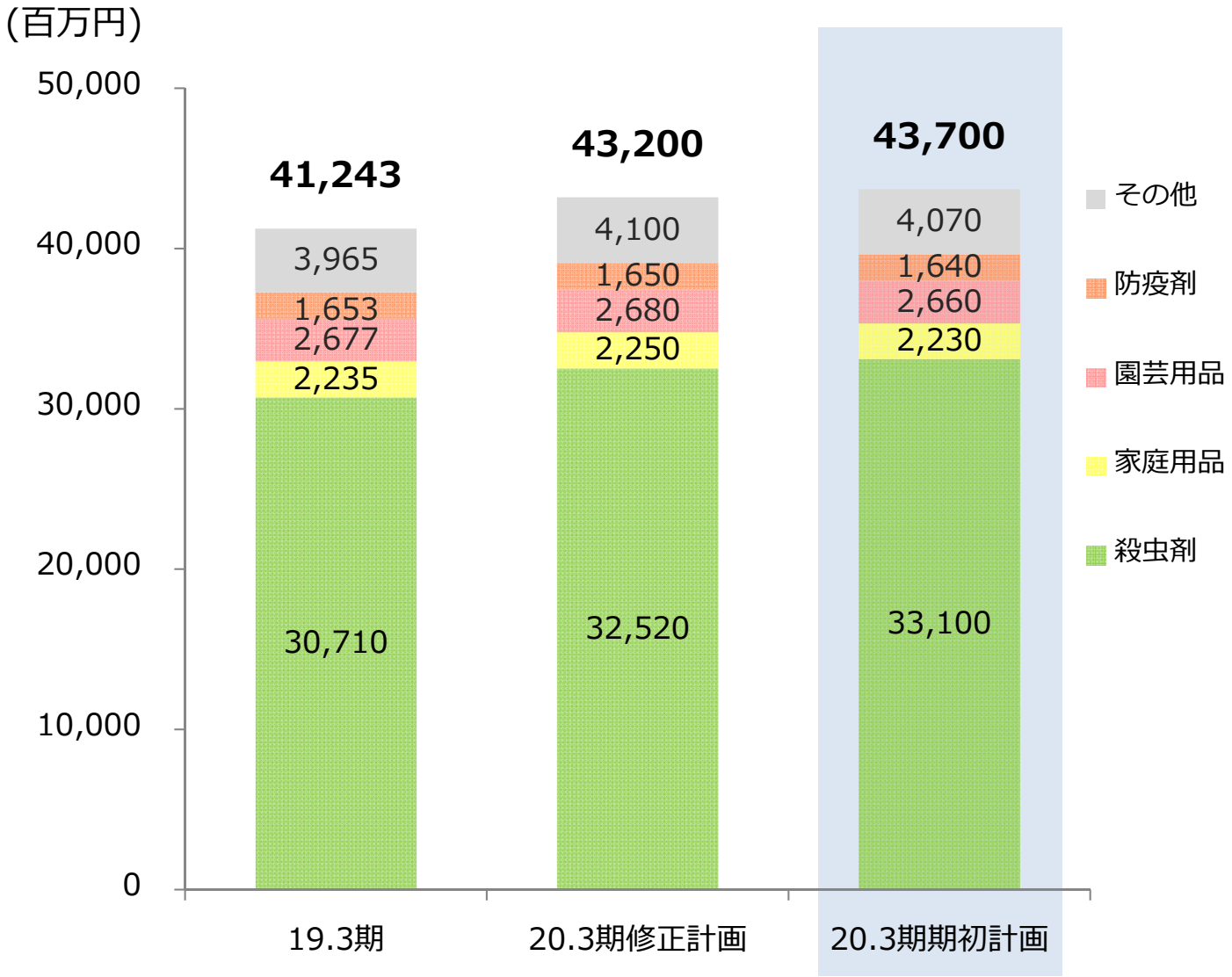
（単位：百万円）

		1～２Q累計	3～4Q計	通期
売上高	19.3月期実績	22,034	19,209	41,243
	20.3月期 期初計画	*24,100*	*19,600*	*43,700*
	20.3月期 修正計画	22,912	20,287	43,200
	前期増減	878	1,078	1,956
	期初計画増減	*▲1,188*	*688*	*▲500*
営業利益	19.3月期実績	105	1,030	1,136
	20.3月期 期初計画	*920*	*930*	*1,850*
	20.3月期 修正計画	366	764	1,130
	前期増減	261	▲266	▲6
	期初計画増減	*▲554*	*▲166*	*▲720*

日用品質 フマキラー

今期予想－ジャンル別売上

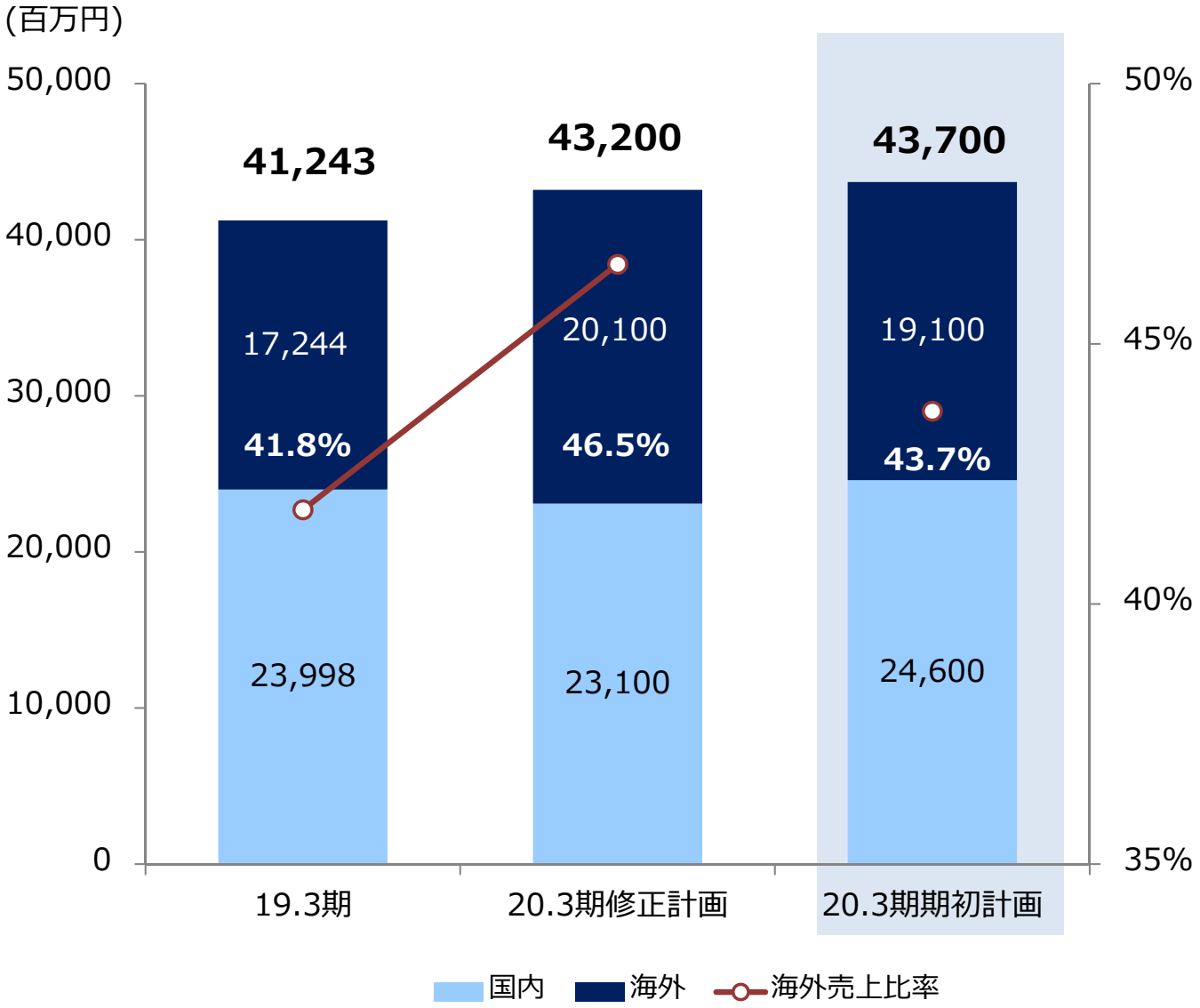
単体の減収を織り込み期初計画を修正



日用品質 フマキラー

今期予想－国内／海外売上

単体の減収の影響から海外比率が上昇



日用品質

フマキラー®

下期の取り組み

項目	取組内容
天候に左右されない 売り場づくりと販促提案	【殺虫剤】 ➢ 危険害虫カテゴリー商品の販売強化 【家庭用品】 ➢ アルコール除菌、花粉対策品、芳香・消臭・除菌剤の拡売 【園芸用品】 ➢ オールパーパス剤などの成長市場への販売強化
売上高・利益の回復、拡大	➢ 販促経費の改善 ➢ 商品アイテムの見直し、在庫の削減 ➢ 見込み生産の精度向上 ➢ 製造コストの低減 ➢ 予実管理の徹底
海外事業のさらなる強化	➢ 売上・シェア拡大 ➢ 製造コストの低減 ➢ 予実管理の徹底

日用品質

フマキラー

下期の取り組み－国内

■ **新価値創造型商品の開発**

1．確かな効き目のモノづくり

2．安全・安心、天然志向のニーズに対応する新製品の開発

■ **通年型商品の開発**

殺虫剤・・・

来シーズンに向けて

新製品準備中　（１月発表予定）

家庭用品・・・秋発表1SKU+新製品準備中

園芸用品・・・秋発表 13 SKU

日用品質
フマキラー

海外国別業績－インドネシア

海外子会社の通期売上高・営業利益見込み

現地通貨ベース

前期比(%)

	2019年 期初計画	2019年 修正計画
売上	115	117
営業利益	123	151

円換算

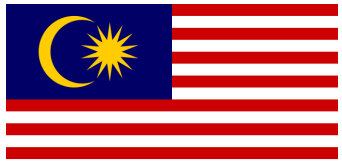
前期比(%)

	2019年 期初計画	2019年 修正計画
売上	113	118
営業利益	120	153

日用品質 フマキラー

海外国別業績－マレーシア

海外子会社の通期売上高・営業利益見込み



現地通貨ベース

前期比(%)

	2019年 期初計画	2019年 修正計画
売上	113	109
営業利益※	-	-

※2018年が営業赤字のため－表記

円換算

前期比(%)

	2019年 期初計画	2019年 修正計画
売上	108	107
営業利益※	-	-

※2018年が営業赤字のため表記

日用品質 フマキラー

海外国別業績－タイ

海外子会社の通期売上高・営業利益見込み

現地通貨ベース

前期比(%)

	2019年 期初計画	2019年 修正計画
売上	133	133
営業利益※	-	-

※2018年が営業赤字のため－表記

円換算

前期比(%)

	2019年 期初計画	2019年 修正計画
売上	124	141
営業利益※	-	-

※2018年が営業赤字のため－表記

日用品質 フマキラー

海外国別業績－ベトナム

海外子会社の通期売上高・営業利益見込み

現地通貨ベース

前期比(%)

	2019年 期初計画	2019年 修正計画
売上	121	118
営業利益	111	135

円換算

前期比(%)

	2019年 期初計画	2019年 修正計画
売上	116	117
営業利益	105	133

日用品質
フマキラー

海外国別売上高

現地通貨ベース

前期比(%)

展開国	2019年 期初計画	2019年 修正計画
インドネシア（2社）	115	117
マレーシア	113	109
タイ	133	133
ベトナム	121	118
インド	120	114
メキシコ	125	126

円換算

前期比(%)

展開国	2019年 期初計画	2019年 修正計画
インドネシア（2社）	113	118
マレーシア	108	107
タイ	124	141
ベトナム	116	117
インド	114	111
メキシコ	123	125
海外合計(単純合算)	112	115

日用品質
フマキラー®

ブレーンズ・パーク計画

第Ⅰ期工事（2012年3月完成）

【エアゾール工場】
環境に配慮した工場で、より高品質、高効率の生産体制

ブレーンズ・パーク（全体イメージ図）

- 建設場所；当社広島工場（広島県廿日市市梅原）敷地内
- 建築面積；約5,335㎡
- 延床面積；約8,175㎡
- 内容；研究開発及び生産に関する施設等
  (生産に関する施設として、液剤工場の新設を予定)
- 投資金額；約19億円（概算）
- 資金計画；自己株式の処分資金並びに自己資金又は借入金により調達予定
- 完成時期；2021年3月（予定）

日用品質
フマキラー®

ミャンマー工場計画

ミャンマー工場建設（2019年11月完成）

エアゾール工場

事務所棟

- 内容；エアゾール工場・事務所棟
- 稼働時期；工場稼動開始 2020年３月（予定）

Ⅲ. 配当政策

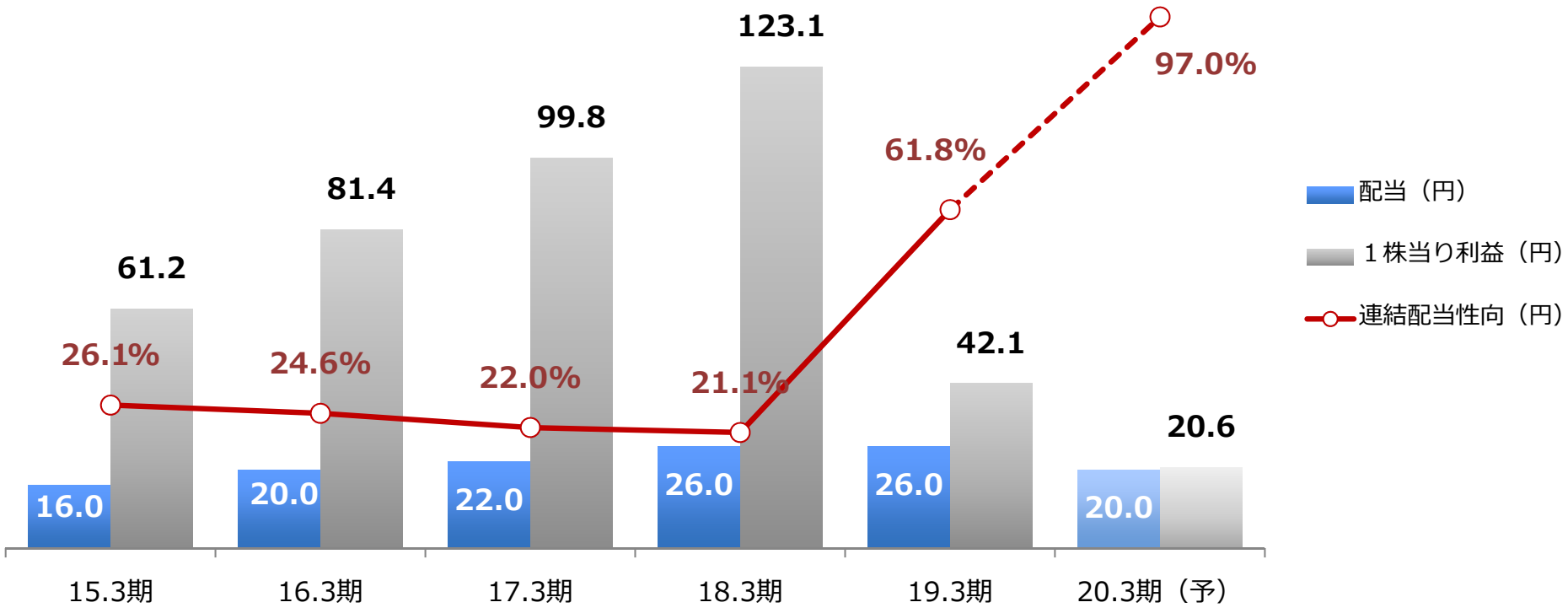
日用品質 フマキラー

配当について

配当に関する基本方針

株主様に対する利益還元として、業績・将来の事業展開や内部留保などを　総合的に勘案し、安定的かつ継続的な配当を行っていくことを経営の重要課題として位置づけています

配当及び連結配当性向の推移



※17.3期以前の1株当り利益および配当は2017年10月1日に実施した株式併合を考慮して遡及修正

日用品質

フマキラー®

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

≪本資料に関するご照会先≫

フマキラー株式会社

取締役　管理本部長　　佐々木　高範

TEL　　：0829-55-2111

FAX　　：0829-55-0712

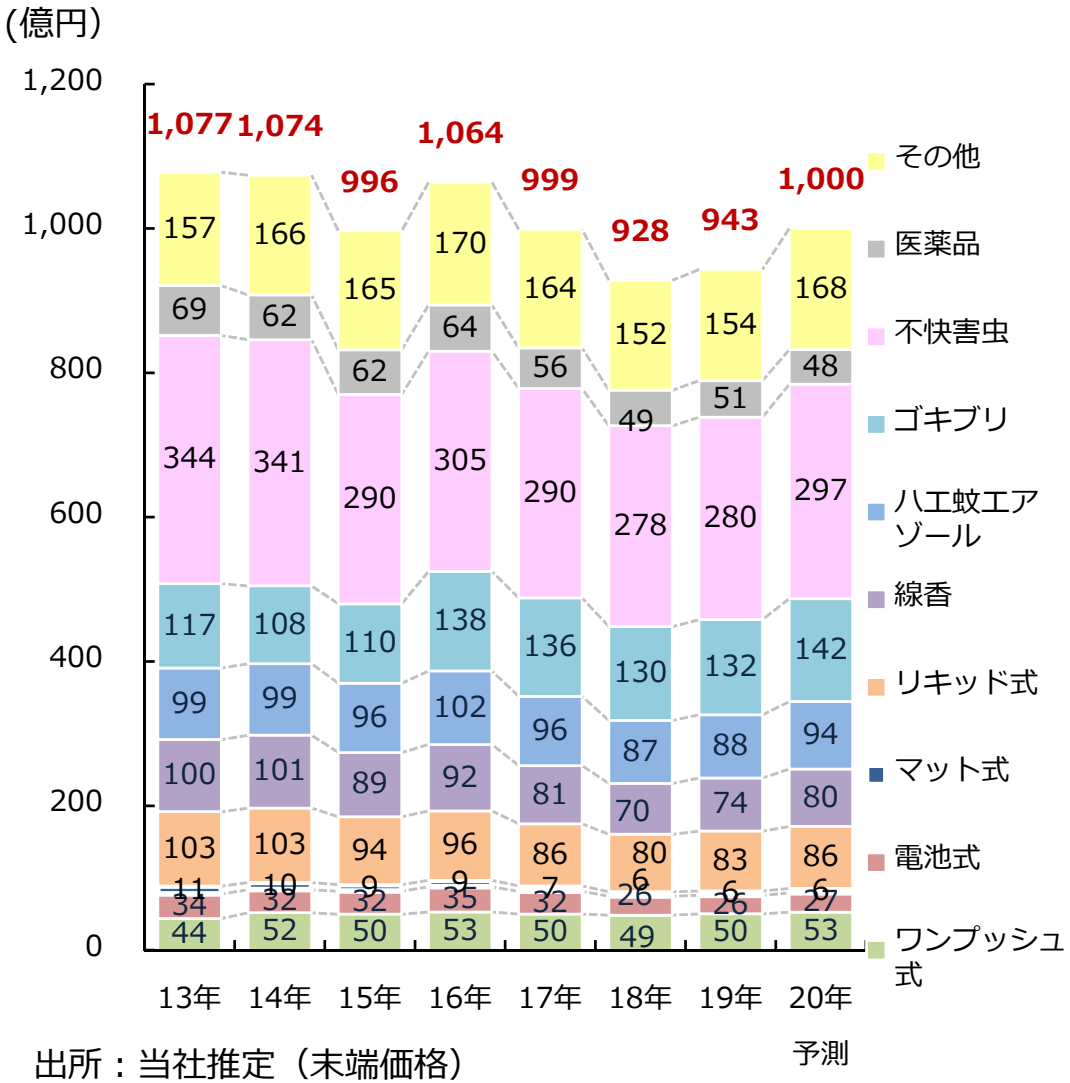
E-mail：k.sasaki@fumakilla.co.jp

Ⅳ. 補足資料

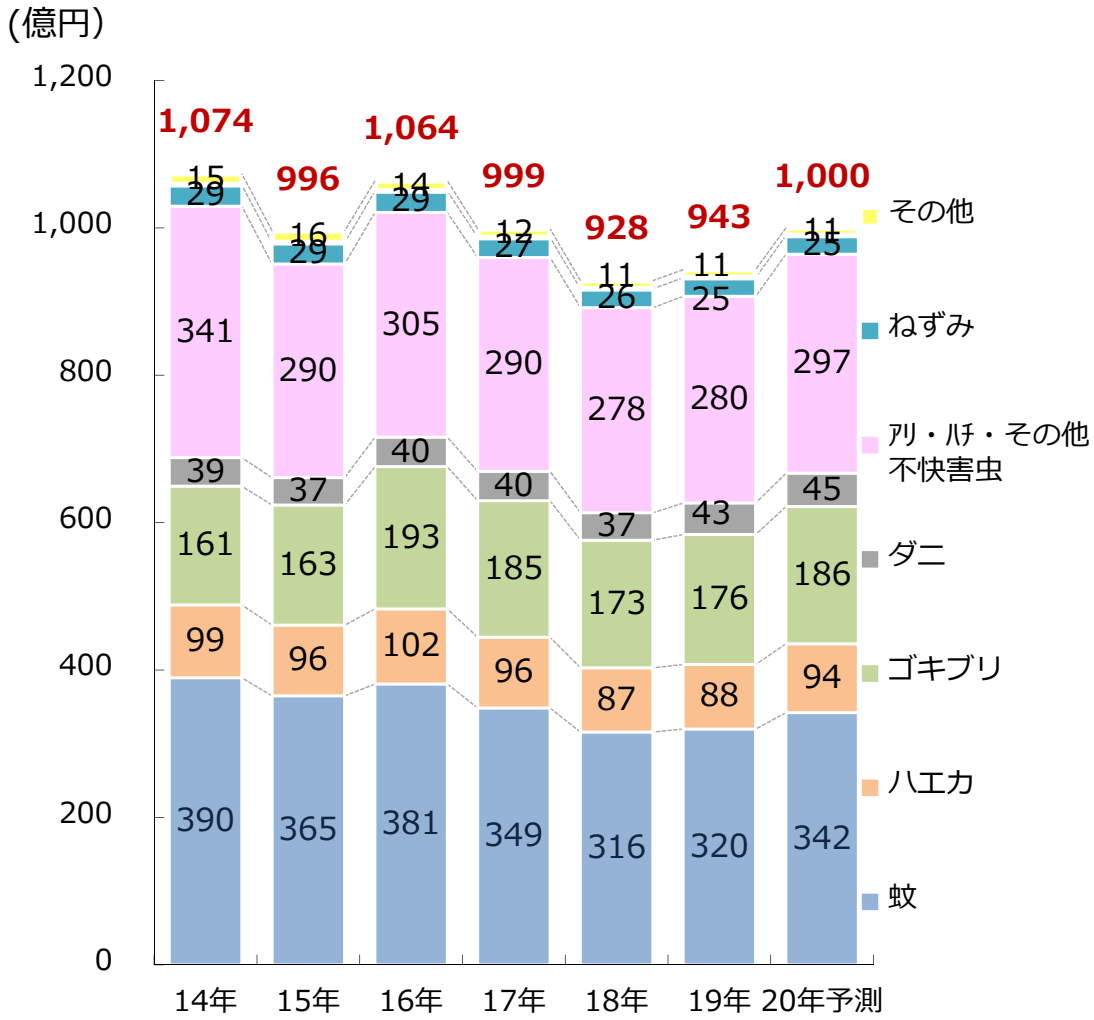
日用品質 フマキラー

家庭用殺虫剤市場規模－国内市場

国内・家庭用殺虫剤市場規模
年間約1,000億円（小売ベース）



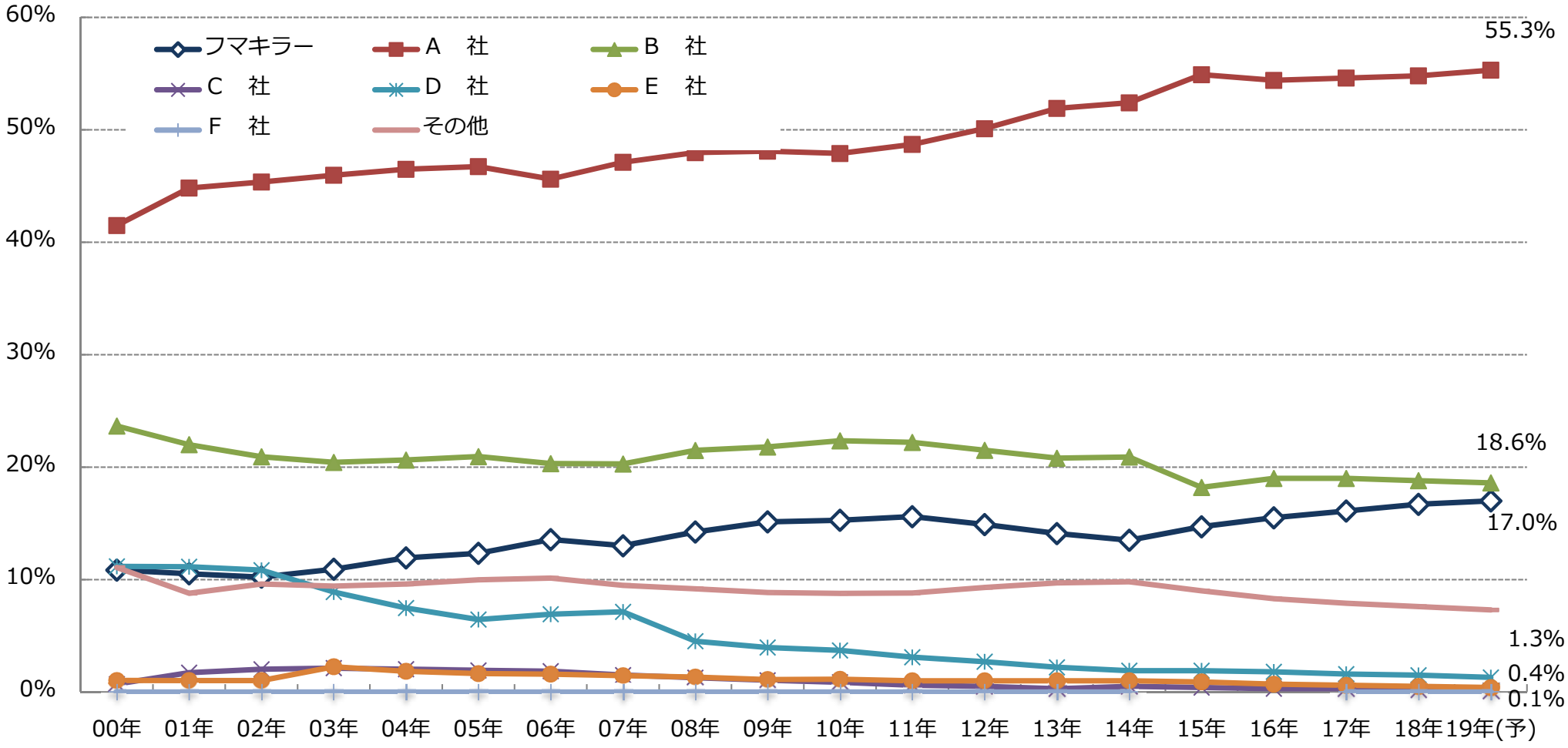
害虫別殺虫剤市場規模



出所：当社推定（末端価格）

日用品質
フマキラー

家庭用殺虫剤シェア推移



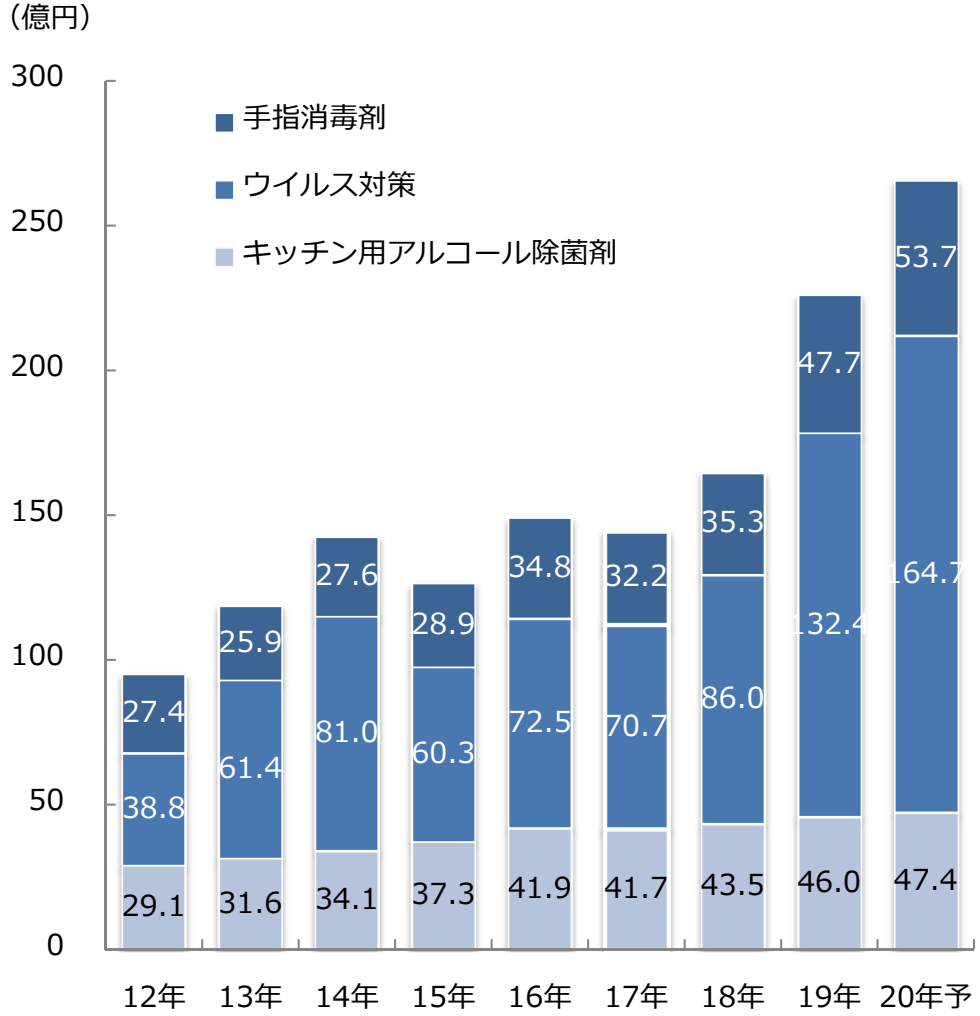
出所：当社推定

日用品質 フマキラー

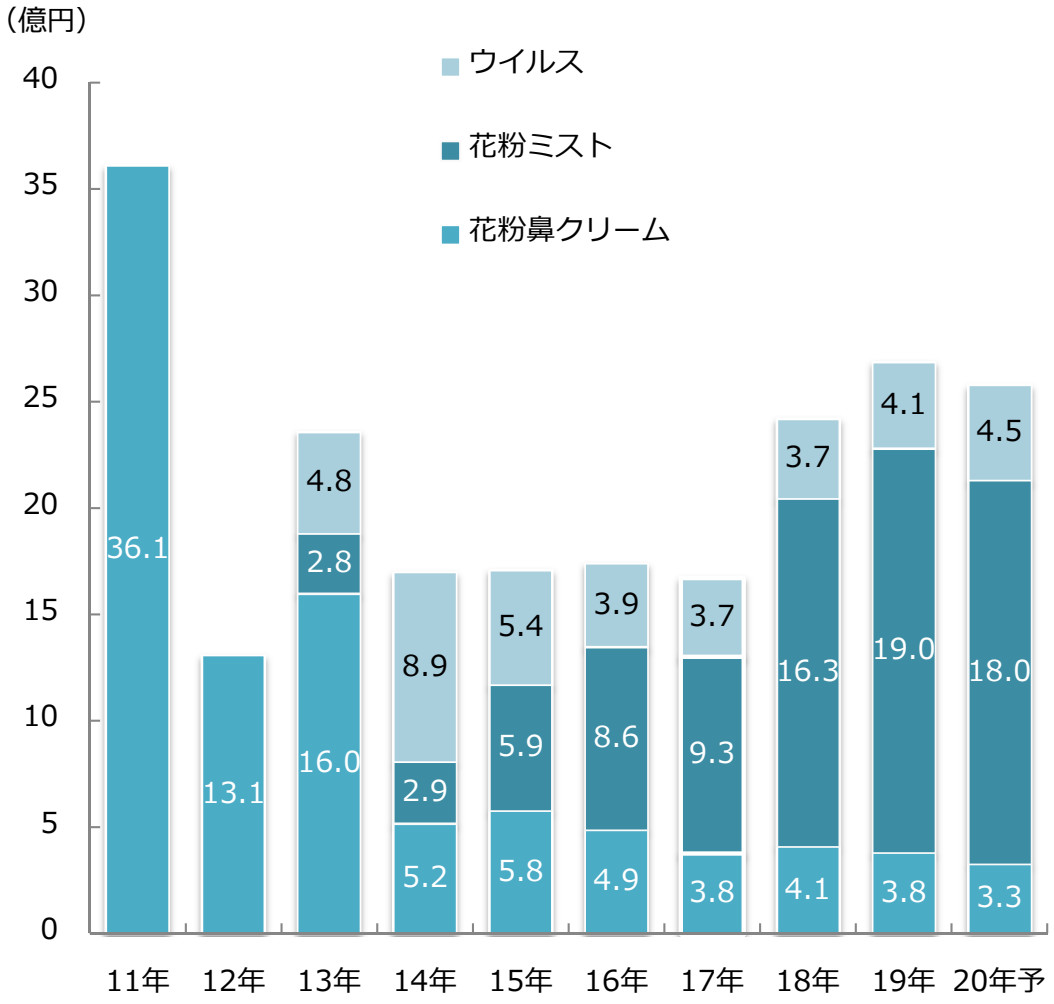
家庭用品市場規模―除菌剤・花粉

除菌剤市場

（当社関連商品）



アレルシャット関連市場

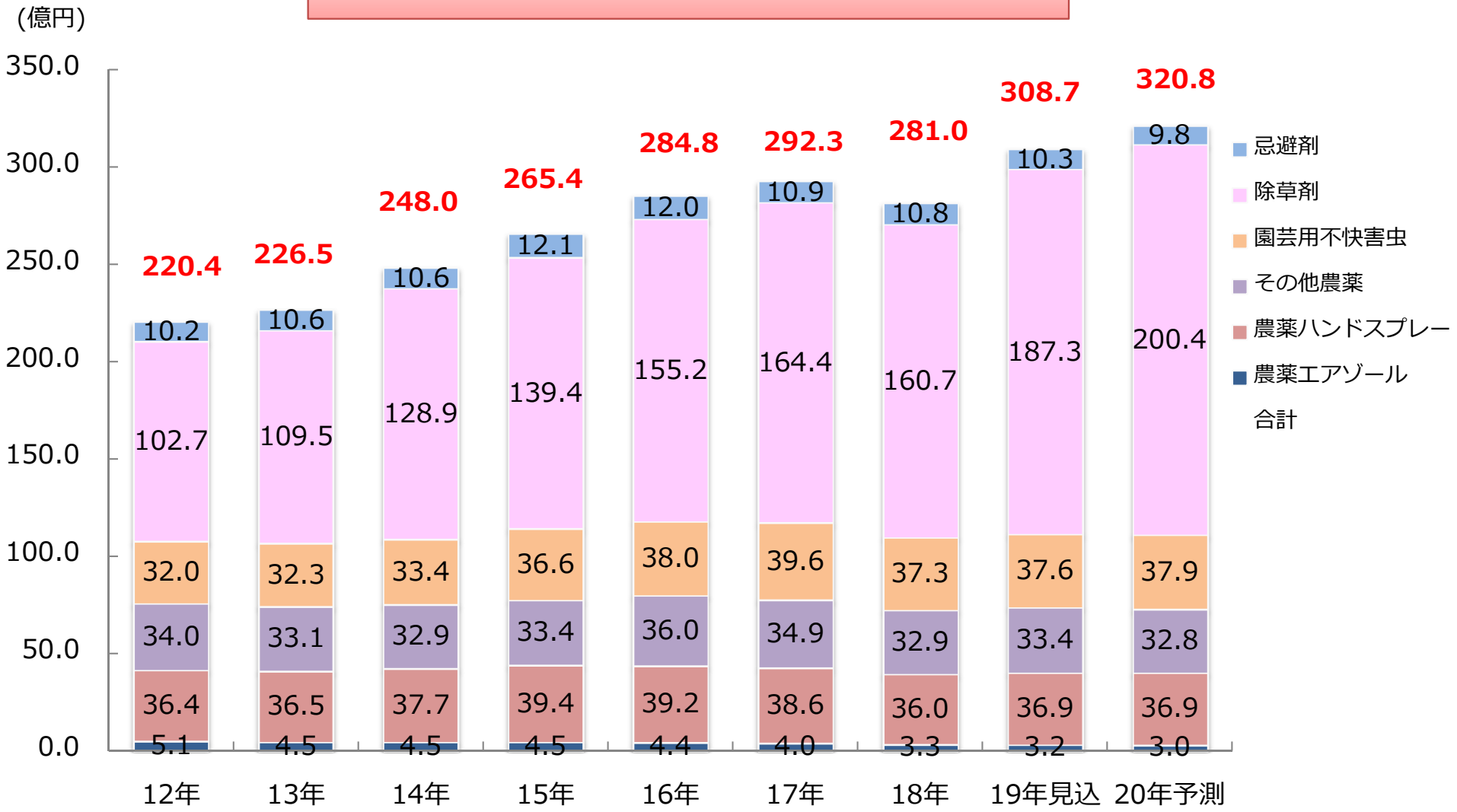


出所：当社推定（末端価格）

日用品質 フマキラー

園芸用品市場規模

園芸用品市場



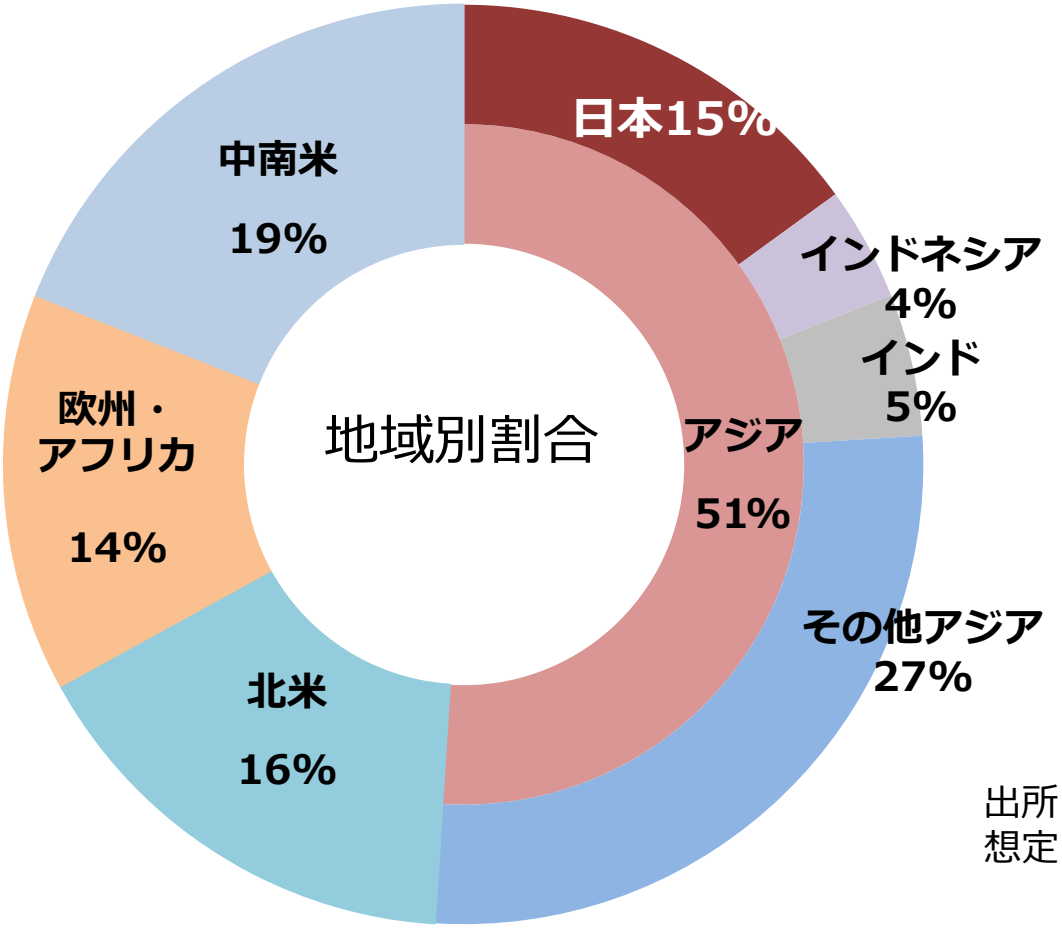
出所：当社推定（末端価格）※13年より項目追加

日用品質 フマキラー

家庭用殺虫剤市場規模－世界

- 世界の殺虫剤市場は約7,440億円。市場の51%はアジアが占める

全世界・家庭用殺虫剤市場規模（日本含む）
年間約7,440億円（末端価格）



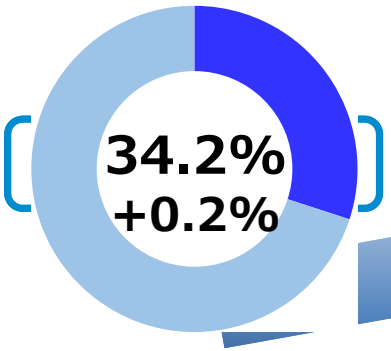
出所：当社推定
想定レート：１USドル＝110円

日用品質 フマキラー

海外展開-ASEANにおけるシェア

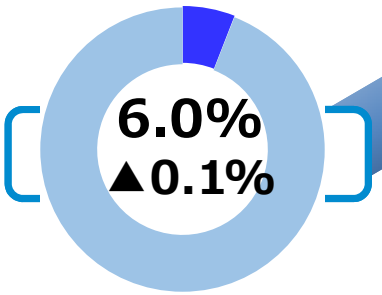
フマキラーグループの殺虫剤シェア

フマキラーグループ
上段：シェア
下段：前期増減



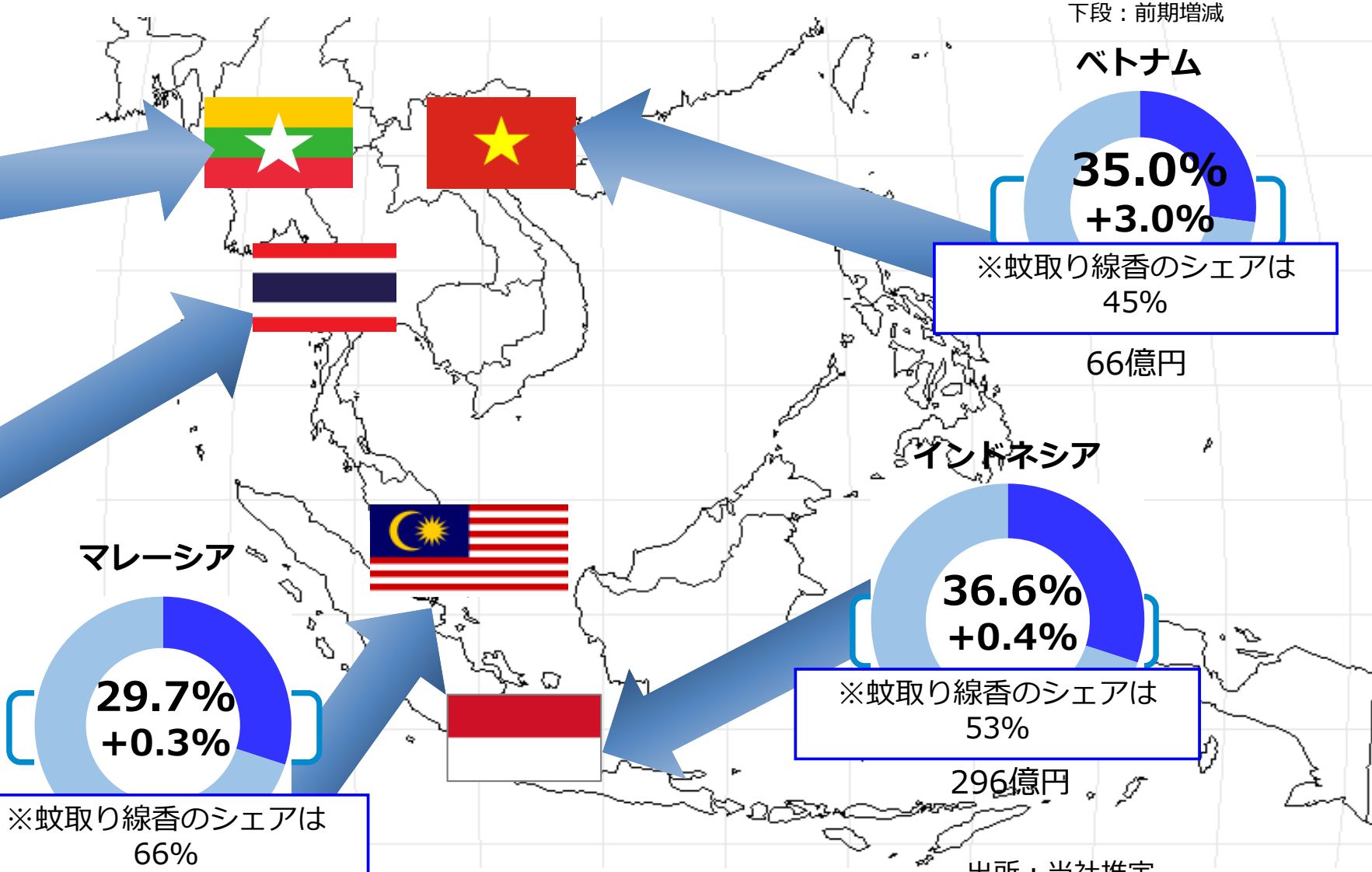
ミャンマー

35億円



タイ

144億円



マレーシア

※蚊取り線香のシェアは
66%

80億円

ベトナム

※蚊取り線香のシェアは
45%

66億円

インドネシア

※蚊取り線香のシェアは
53%

296億円

出所：当社推定
市場規模；末端価格ベース

日用品質
フマキラー

地域別経営課題－インドネシア

国、会社	取組内容
フマキラー インドネシア	➢ 線香No.1シェアの堅持(ジャワの線香強化) ➢ 成長3カテゴリーの強化(OPV、エアゾール、電気リキッド)　※OPV（ﾜﾝﾌﾟｯｼｭﾍﾞｰﾌﾟ） ➢ 販促戦略の転換
フマキラー ノモス	➢ 線香の売上拡大に注力。 ➢ 国内線香及びエアゾールの販売網の更なる拡充 ➢ 蚊取り線香の生産性向上とコストダウン推進

日用品質
フマキラー

地域別経営課題－FAG

国	取組内容
マレーシア	➢ 線香、リキッド、マットの市場シェアNo.1の維持、さらなるシェアアップ ➢ 最大カテゴリーのエアゾールのシェアアップ ➢ 新カテゴリーのワンプッシュ、スキンベープで市場を拡大
ベトナム	➢ 殺虫剤シェアNo.1の維持、さらなるシェアアップ ➢ 蚊取り線香のシェア競争に注力。 ➢ ブランドの強化・育成 ➢ 製品ラインナップ強化 ➢ 生産効率改善とコストダウン
タイ	➢ 重点商品の明確化と重点集中 ➢ 国内販売網の再整備 ➢ 生産性の向上とコストダウン推進
ミャンマー	➢ 線香が順調、ウコン線香を中心にシェア拡大 ➢ 新工場（エアゾール）建設完了

日用品質
フマキラー

エステーとの協業

- エステー社との協業を継続
- 新たなコンセプトの製品開発、販路開拓、効率的なサプライチェーンの構築を推進

①営業（国内）

- 政策発表会や商談会におけるコラボレーション
- 販促サポート業務の共同取り組みや販売チャネルの相互活用の強化等
- 営業支援システムの導入

②開発

- 新製品の上市
- 香りの研究

天使のスキンベープティッシュプレミアム
ダニよけ桃のチカラ

監修 エステー株式会社 日本かおり研究所

③国内生産・物流

- 国内の生産受委託拡大
- 物流拠点の再編によるコスト削減

④海外生産・販売

- 海外（インドネシア）での生産受託
- 当社海外販売網の活用による海外事業の基盤構築

日用品質
フマキラー®

ESGへの取り組み

SDGs達成に向けた取り組みを実践。

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年9月に国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための国際目標です。グローバル企業の責務として、フマキラーも積極的に目標達成に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

高効力製品の開発・販売

虫が媒介する感染症の世界的流行や外来生物の生息域拡大など害虫問題は年々深刻化しています。フマキラーは高効力殺虫剤の開発・販売を通じて害虫問題の予防に貢献します。

3 すべての人に健康と福祉を

殺虫業界で唯一*エコレールマークを取得

環境にやさしい鉄道輸送を推進しています。

*2019年4月1日現在

私たちは、環境にやさしい鉄道貨物輸送を推進している企業です。
エコレールマーク

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

感染症についての啓発活動を実施

日本や感染症被害の多いアジアを中心にセミナーや特別授業を開催。製品を販売するだけでなく、感染症の恐ろしさを伝える活動にも積極的に取り組んでいます。

4 質の高い教育をみんなに

働きやすい職場環境づくり

従業員が働きやすい職場環境づくりに努めるとともに、従業員一人ひとりの人格や個性を尊重し、能力や成果を公正に評価します。

8 働きがいも経済成長も

ESGへの取り組み

鉄道貨物輸送を積極的に利用。

当社では、出荷センターへの在庫補充のために鉄道貨物輸送を利用しています。店舗で品薄や欠品状態になると、工場からトラック輸送で直接納品となってしまうため、生産スケジュールの前倒し等を行って鉄道を積極的に利用し、環境への配慮を心掛けています。こうした取り組みが評価され、現在フマキラーは、殺虫剤の製造・販売に関連する企業としては唯一*、殺虫剤5点、家庭用品2点、園芸用品4点でエコレールマーク認定を取得しています。 *2019年4月1日現在

私たちは、環境にやさしい鉄道貨物輸送を推進している企業です。
エコレールマーク

「エコレールマーク」とは

国土交通省が環境にやさしい鉄道貨物輸送に取り組んでいる企業や商品を認定するマークです。環境にやさしい鉄道貨物輸送についての認知拡大と環境問題への意識向上、企業の鉄道貨物輸送へのモーダルシフト促進を目的としています。

日用品質
フマキラー

ESGへの取り組み

「フマキッズこども研究所」は、子供たちの自然や地球環境、
生命に対する探究心の向上と精神的な成長をサポートするための活動。

植物とふれあう楽しさと喜びを広げるため、**園芸教室**を、
全国各地のホームセンターで定期的に開催。

カダンアドバイザー国吉純